

水の三島

緑の三島

文化の三島

歴史の三島

— 市民がつくる市民のための地域環境情報誌 —

# エコライフみしま



第16号  
2010/10/15

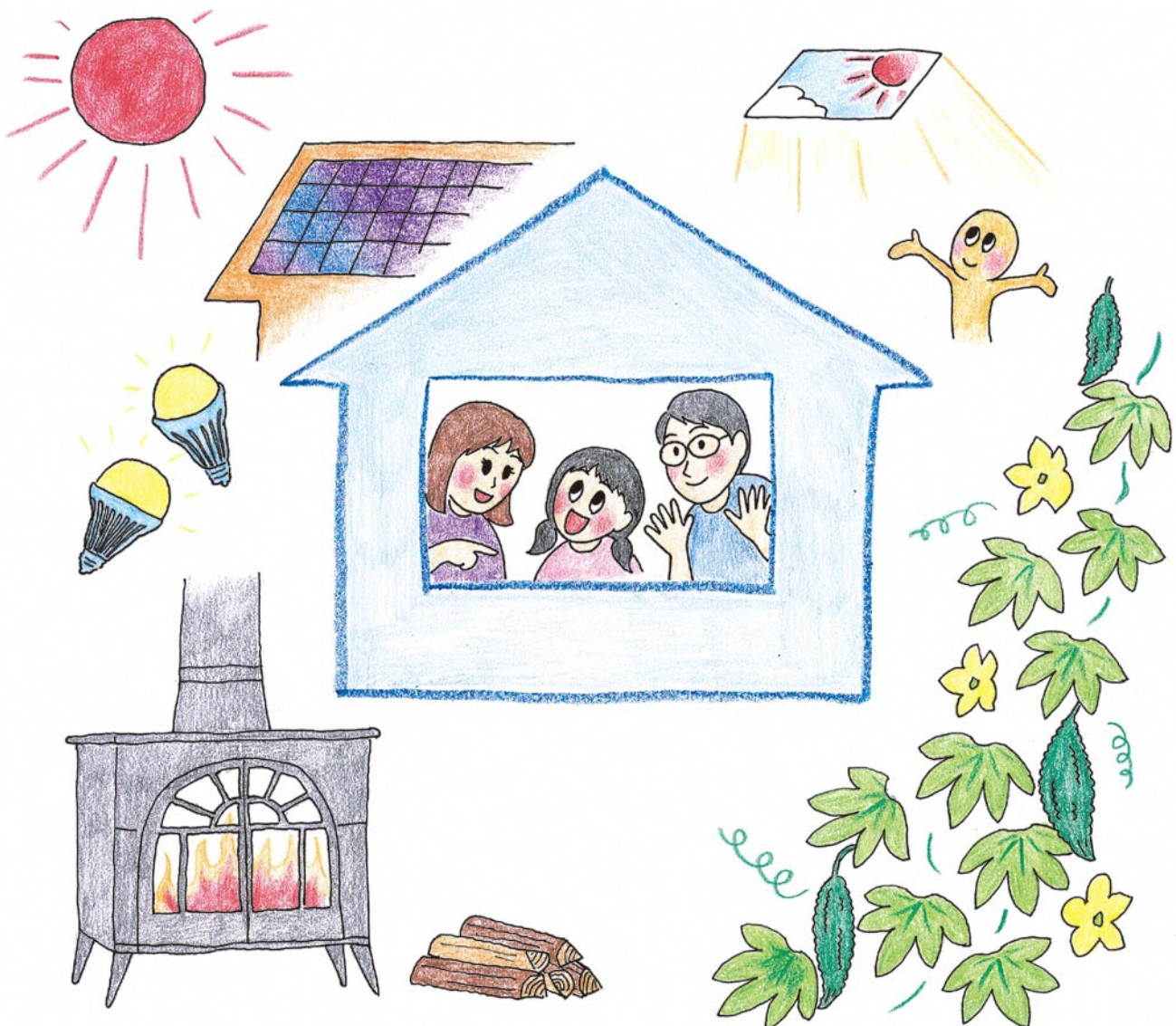
知っていますか？

市の鳥「カワセミ」市の木「イチョウ」市の花「三島桜」



- 特集「エコハウス」
- お江戸でござる（江戸時代のエコハウス）
- 環境活動紹介（エコリーダーの地域環境活動）

## 天からの恵みをうけてエコ生活



## ○太陽光発電



太陽光発電とは、太陽の光エネルギーを直接電気に変換する発電方式です。

太陽光発電システムは、メンテナンスも簡単なうえ、太陽電池の耐用年数も20年以上とされています。太陽光発電の発電電力が消費電力を上回った場合は、電力会社に電気を買い取ってもらうことができます。反対に、曇りや雨の日など、太陽光発電で発電した電力では足りない時や夜間などは、従来通り電力会社の電気を使います。こうした電気のやりとりは自動的に行われるので、家庭での日常の操作は一切不要です。平成21年11月からは新たな買い取り制度もスタートし、家庭で作られた電力のうち自宅で使わないで余った電力を、住宅用では1キロワット時当たり48円で、10年間、電力会社に売ることができるようになりました。

太陽光発電システムの設置費用について、市環境政策課に問い合わせたところ、平成22年の4月から8月までに行われた三島市への太陽光発電システム設置費補助金への申請では、1件当たり平均3.72キロワットの太陽電池が設置され、工事費は約211万円とのことです。ちなみに、太陽電池1キロワット当たりで年間約1,000キロワット時の発電ができるといわれています。太陽光発電システムを設置すると、家庭の電気の使用量が一目で分かるモニターも設置されますので、節電意識も高めることができます。

## ○緑のカーテン



ヒートアイランド対策の一つで、窓にネットを張って、つる植物を絡ませ、窓を覆うことにより、日光を遮る効果と、植物が水蒸気を放出する蒸散作用により部屋を冷やすことが期待されます。

Wさんの話、「涼しさを呼ぶために今年初めて設置しました。誰でも手軽に作ることができますが、エアコンより窓を開けて緑のカーテンを通り抜ける涼しい風の方が気持ちが良いです。朝顔・ひょうたん・ゴーヤ・ふうせんかずら・へちまなどの種まきから始めましたが、葉の蒸散作用により水分をふくんだ涼しい風を取り入れることができるうえ、花や実を楽しめる充実感が大きいです」。

## ○天窓

天窓は、採光のために、屋根の一部に設けた窓のことをいい、壁面に設けた窓よりも3倍以上の採光率があるとされます。

Yさんの話、「家の耐震補強工事として、屋根を葺き替えた際、昼間でも薄暗かった北側台所に天窓を取り付けることにしました。明り取り（室内に採光）のため、屋根に取り付けた天窓（63×89cm）の価格は約6万円でした（取付工事費は別途）。工事関係者からは『夏場は部屋が暑いよ』と言われましたが、それほど暑さを感じず、かえって冬場の太陽光線がとても暖かいのがうれしいです。また、思いがけず室内からお月見ができて感激しています。天窓の取り付けで、年間を通し晴れの日も曇りの日でも昼間は電灯をつけない生活が可能になり、自然にエコ生活をしています。一時的な出費とはなりましたが、天窓を取り付けたことは大正解と大満足しています」。



▲三嶋曆師の館

## お江戸でござる～江戸時代のエコハウス～

三嶋大社の東に現存する三嶋曆師の館（旧河合家）は、江戸末期（150年以上前）に建てられた木造平屋の建物です。切妻造の屋根は元沼津城の屋根瓦を葺き、建材も裾野市十里木にあった元関所の古材が使用されていますが、度々の地震や強風に耐えてきました。構造も高床、高天井で風通しが良いうえ、広い土間、すのこ引戸、漆喰塗の壁、内風呂、かまど、囲炉裏などの機能や間取りは、夏涼しく冬暖かい、日本の風土に合った住居といえます。

## OLED 照明

LED（発光ダイオード）照明が注目されています。かつて、照明器具はエジソンが発明した白熱電球が主体でしたが、性能、価格ともに優れた蛍光灯の出現により、徐々に白熱電球は蛍光灯に置き換えられるようになりました。近年では、青色LEDや白色LEDの開発により、一般照明用としてLED照明が開発されています。LED照明は、従来の光源と比べて、寿命が長く、消費電力が少ないので経済的なうえ、発熱量が少ないなどの優れた特長があり、次世代のあかりとして期待されます。本格的な普及には、価格や機能面などで克服すべき課題はありますが、将来的にはLED照明が照明の主流になるものと思われま



電球型 照明器具の比較 (60Wタイプ)			
	白熱電球	電球型蛍光灯	LED電球
消費電力※	54W	12W	7.5W
寿命	1,000時間	6,000時間	40,000時間
価格	約100円	約1,000円	約3~4,000円

※製品により消費電力は異なります。

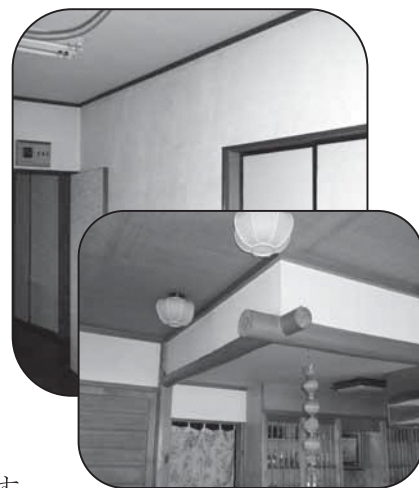
## しっくい ○漆喰壁

漆喰は、日本の伝統的な建築材料で、石灰岩などを焼いて砕いた生石灰を空気にさらして消石灰にし、海草のりなどとひび割れ防止の麻スサを混ぜてペースト状にしたものを、壁や天井などに塗って使います。

漆喰は、湿気を調節するので、結露しにくくカビが発生しにくいいため、四季のある日本の気候に適しており、押入れなどに最適な建材ともいえます。Tさん宅では、築20年以上経ちますがカビなしのうえ、漆喰が危険な化学物質を含んでいないため、シックハウス症候群などとは無縁で安心とのこと。また、漆喰は耐久性もあり、汚れても容易に直せます。例えば手垢などは消しゴムで落とせ、油性インクもサンドペーパーで軽く擦れば消すことができるので、長い目で見た場合の維持コストはかなり低く抑えることができます。

漆喰塗りは、左官の技術と材料選びに左右されやすいところがありましたが、最近では、自然素材を配合し改良を加えた漆喰などもあり、誰もが簡単に施工できるようになりました。リフォームの時に、自分で壁を仕上げても、まるで職人技のような美しさになるそうです。

このような自然素材で、健康面でも心配のない漆喰壁は、最近、見直されてきています。



## ○薪ストーブ

薪ストーブは、熱出力が高いので、住宅の断熱性能を十分確保し、吹き抜けやリビングなど、設置する場所を工夫すれば家全体を暖めることもでき、私たちが日常使用している石油、ガスなどの化石燃料を使用するストーブに比べ、とてもエコロジーな暖房器具です。

もちろん、薪ストーブも、薪を燃やすことによりCO<sub>2</sub>(二酸化炭素)を排出しますが、その量は、木が成長する過程で吸収するCO<sub>2</sub>の量とほぼ同じです。つまり、木は、燃やすことでCO<sub>2</sub>が発生しても、実質的には大気中のCO<sub>2</sub>を増加させない燃料なのです。また、地元の間伐材や端材などを薪として使用すれば、森林の保全やごみの減量化などに役立つこともあり、今、注目されています。

薪ストーブの使用には煙突や本体のススを落とすなどのメンテナンスも必要ですが、薪ストーブのゆらゆらと燃える火を眺めるのは、他には代え難い癒しでもあります。



## 《旧市内地区エコリーダー活動の紹介》

### 環境パトロール



毎月第2土曜日、広小路駅や田町駅、三嶋大社周辺などで市街地のごみ拾い活動を行っています。毎回「地域を知ろう！」クイズも行います。

### 《今後の予定》

実施日	集合時間	集合場所
11月13日(土)	9:00	広小路駅
12月11日(土)	9:00	三嶋大社
※1月8日(土)	9:00	三島駅南口
2月12日(土)	9:00	広小路駅

※名所めぐりエコウォーキング

### 名所めぐりエコウォーキング

7月10日(土)開催



ふるさとガイド会員の案内により、ごみ拾いをしながら、旧市内地区の名所・旧跡を巡りました。参加者からは、「今まで知らなかった場所もあり、楽しく勉強になった」との声が聞こえました。

### 森の観察エコウォーキング

4月10日(土)開催



楽寿園で、樹木の観察会を行いました。参加された方に人気のあった木は、  
1. ケヤキ 2. クスノキ 3. アオキ  
の順でした。

皆さんも地域での環境活動に参加しませんか。活動日は毎月第2土曜日です。小学生、中学生の参加もお待ちしています。参加希望など、お問い合わせは下記、環境政策課へ。

### 【編集後記】

古来より日本人は、里山からの恩恵を受け、上手にリサイクルする低炭素スタイルの生活をして、暑い夏、寒い冬を乗り越えてきました。生活が豊かになり、少ない労力で莫大なエネルギーを手にし、いつの間にか自然や季節を感じる事が少なくなったように思われます。地球温暖化が騒がれている今こそ、昔のスタイルを思い出し、エコライフを楽しむ時なのかもしれません。(あ)



### 編集スタッフ(市民ボランティア)

飯田喜一・岩田明彦・大村洋子・佐伯忠夫・柴原俊介・鈴木忠宣  
鈴木祥子・堀江紗代・渡邊芳昭

<http://www.city.mishima.shizuoka.jp/> (広報みしまと一緒に掲載中)

### 第16号(5月・10月の年2回発行)

平成22年10月15日発行

〒411-8666 静岡県三島市中央町5-5

三島市役所中央町別館

環境政策課内

「エコライフみしま」編集事務局

TEL:055-983-2647

FAX:055-976-8728

E-mail:kankyou@city.mishima.shizuoka.jp

エコライフみしまは再生紙を使用しています。  
この再生紙も、さらに再生可能な資源古紙です。